

保 健 体 育

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

大 修 館 書 店

学研教育みらい

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">東京書籍（新しい保健体育）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知識の習得を促す様々な関連付けや、技能に関する実習を映像で確認できるデジタルコンテンツが工夫されている。 ・ 「見つける→学習課題→課題の解決→広げる」で構成され、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 ・ 学習したことを自他の生活に置き換えて考える活動が設けられ、さらなる学びへの意欲を喚起できるよう工夫されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等 〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) 全ての学習内容において4つの段階による課題解決ができるよう、1時間の構成が配慮されている。 (2) 「見つける」から「広げる」までの流れを一本の矢印でつなぐことにより、見通しをもって学習できるよう工夫されている。 (3) 教科書内と他教科との学習内容を区別して示しており、単元以外の学習との関連を深めることができるよう配慮されている。 (4) 学習課題で示された「キーワード」の解説が巻末にまとめられており、生徒が自分で調べやすいよう工夫されている。 (5) 本文は見開きの中央、資料などはその左右両端という配置がほぼ統一されており、読みやすくなるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価 〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) 章扉に、その章の学習に関連する小学校及び高校の学習内容を明記し、小・中・高の順に学習の系統性を示すなど工夫されている。 (2) 各章ごとに道徳の内容項目との関連が示されるとともに、他教科や口絵との関連も示されるなど工夫されている。 (3) デジタルコンテンツを活用し、多様な学習方法によって様々な見方・考え方を引き出すことができるよう工夫されている。 (4) 資料と関連付けて学習することで知識の定着が図られるよう、学習課題の欄に「キーワード」を示すなど配慮されている。 (5) キャラクターによる説明や既習内容を想起させる問いかけなどにより、主体的に考えることができるよう工夫されている。 (6) 各章末に、知識の習得を確認する問題と知識を活用して考える問題を設け、まとめの観点が明確になるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「見つける」で、身近な生活や経験の中から学習課題を自分事として捉え、追究できるよう、学習の導入が工夫されている。 ・ デジタルコンテンツの充実により、ICTを活用した学習方法において学習の理解を深められるよう工夫されている。

発行者名 採択基準	大日本図書（中学校 保健体育）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての学習内容において、キーワードで学習を振り返ることで、知識の定着を図ることができるよう工夫されている。 ・ 追究場面で様々な学習活動が設定され、思考力、判断力、表現力を育成できるよう工夫されている。 ・ 3年間の保健体育の学習と自己実現とのつながりを示し、全体像を捉え見通しをもって学ぶことができるよう工夫されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) 1学年では、発達段階を考慮し、本文を単語の途中で改行せず、生徒が読みやすいよう配慮されている。 (2) 導入場面での端的な問いかけにより、身近な疑問から興味をもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。 (3) 全ての本文・資料下部に「ミニ知識」が掲載され、学習内容を生活と関連させて考えることができるよう配慮されている。 (4) 重要語句に脚注を付けることにより、重要語句の理解を深めることができるよう工夫されている。 (5) 青い帯で見出しと関連資料番号を表示し、学習内容と資料との関連を明確化し、学習意欲を喚起するよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) 章扉に、小学校・中学校・高校の学習内容が矢印で示され、系統が視覚的に理解しやすいよう工夫されている。 (2) 本文下に「リンク」が設けられ、単元相互や他教科との関連を図ることができるよう工夫されている。 (3) 「話し合ってみよう」のページが多く設けられ、対話的に学び、見方・考え方が広げられるよう工夫されている。 (4) 全ての本文左に「トピックス」が設けられ、学んだ知識を実生活と関連させて広げることができるよう配慮されている。 (5) 配色を工夫し、本文と資料を明確に区別して見ることができるよう工夫されている。 (6) 章末の「学びを活かそう」では、身に付けた知識を日常生活に活用して学びを深められるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての学習内容で、本文と資料が左右に分けて示され、学習内容を整理しながら学ぶことができるよう工夫されている。 ・ 豊富な口絵により、生徒の興味・関心を引き出し、主体的に学習が進められるよう工夫されている。

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">大修館書店（最新中学校保健体育）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容と自分の生活との関連を基に追究し、理解の定着を図ることができるよう工夫されている。 ・ 話合いや友達にアドバイスをする活動などを多く取り入れ、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう工夫されている。 ・ 学習の流れや系統性を具体的に示し、生徒が見通しや興味・関心をもって学習を進めていくことができるよう工夫されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) それぞれの項目に基本段落ごとに小見出しがあり、生徒が見通しをもって学習できるよう配慮されている。 (2) 学びを広げたり、深めたりするために「クローズアップ」を設けるなど主体的・対話的に学習ができるよう工夫されている。 (3) 「他教科」のマークを設け、授業導入時に他教科とのつながりを意識して学習が始められるよう配慮されている。 (4) 本文に出てくる言葉などを詳しく解説する「ほり下げる」をページ下部に設け、学習内容の理解が深まるよう工夫されている。 (5) 見開き2ページの外側にさし絵、写真、図表の配置がほぼ統一されており、資料を視覚的に捉えやすいよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) 体育理論、保健分野ともに全ての章扉に小学校、中学校、高校の学習内容が明記され、系統化が図られるよう工夫されている。 (2) 「課題をつかむ」の欄の下に「関連マーク」を設け、関連する内容がある場合に指導しやすいよう工夫されている。 (3) 技能を習得する「実習」では、グループで友達と関わり合いながら役割分担して学習を進めるなど工夫されている。 (4) 章末には「知識・技能の確認問題」が設けられ、理解の定着が図られているか自分で確認できるよう配慮されている。 (5) さし絵、写真、図表を基に自分の生活をイメージしたり、社会との関わりを考えたりできるよう工夫されている。 (6) 「章のまとめ」で、3つの資質・能力及び振り返りを記入する欄が設けられ、まとめや評価が明確になるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習に見通しをもって臨むことができるように全ての単元、1時間の授業の構成を同じにするなど工夫されている。 ・ 章扉では写真の吹き出しやイラストを基に、自分の生活との関連を確認し主体的に学ぶことができるよう工夫されている。

<div style="text-align: center;">発行者名</div> 採択基準	学研教育みらい（中学保健体育）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての学習内容に「まとめる・深める」が設けられ、その時間で習得した知識を活用することができるよう工夫されている。 ・ 「課題をつかむ→考える・調べる→まとめる・深める」という流れで構成され、課題解決的な学習ができるよう工夫されている。 ・ 学習の流れの中に、戻って再確認することが示され、知識の習得を基に主体的に学べるよう工夫されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等 〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) 細いユニバーサルデザインフォントを使用し、太字で示された重要語句が見やすくなるよう配慮されている。 (2) 全ての「課題をつかむ」にイラストや写真が入っており、生徒が自らの生活や運動を想起しやすいよう工夫されている。 (3) 保健体育に関わる専門家からのメッセージや関連する職業を掲載し、キャリア教育との関連から学べるよう配慮されている。 (4) 用語の詳しい解説が、全て赤色の白抜き番号で示され、コントラストが明瞭で、視覚的に捉えやすいよう工夫されている。 (5) 写真が豊富でインパクトがあり、興味や関心をひきやすいよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 章扉に、中学校の学習内容を大きな文字で示すとともに関連する小学校及び高校の学習内容を明記するなど工夫されている。 (2) 学習内容をキーワードでまとめ、体育理論・保健・体育実技・各教科を関連させて指導ができるよう工夫されている。 (3) 「見方・考え方」がマークで明示され、見方・考え方を生徒と共有しながら学習を進めることができるよう工夫されている。 (4) 章のまとめには、キーワードとページ番号、振り返りの項目が記載され、知識の定着を確認したり生活に生かしたりできるよう配慮されている。 (5) 運動やスポーツ、健康・安全について、様々な人や場面を取り上げ、多様性や共生の視点から学べるよう配慮されている。 (6) SDGs について、保健体育で学習した内容との関連を考えられるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな写真や章末・巻末資料の充実により、生徒が自らの生活と関連付けて主体的に学べるよう工夫されている。 ・ 各章末の「探究しようよ」によって、既習事項を基に思考力、判断力を働かせ、深い学びを実現できるよう工夫されている。